


公衆電話の利用実態、
安全マップ及びこども手帳の活用状況等に関するアンケート
【結果報告書】



平成23年2月
財団法人 日本公衆電話会
東京統括支部

【はじめに】

（財）日本公衆電話 東京統括支部では、地域社会における安全と安心に関する情報提供活動の一環として、公衆電話が地域社会の中でどのように利用されているか、または役立っているか等の利用動向等のアンケート調査を平成23年2月に実施しました。その結果について紹介し、今後の本会の事業活動等に役立てていくこととします。

アンケートは、今まで小学校に「公衆電話教室」を実施した児童、保護者、教諭を対象にご協力いただきました。

また、当会が一部の小学校へ配付した公衆電話等の設置場所が分かる「安全マップ」、「こども手帳“ぼくも、わたしも社会の一員”」を配付した時の児童、保護者、教諭を対象に利用状況、使い勝手、要望、改善点などについてもアンケートにご協力いただきました。

（注1）「安全マップ」

特定の小学校通学区域を対象に、地図上へ公衆電話、AED、避難所等をプロットし、裏面には公衆電話の使い方、災害用伝言ダイヤル171の使い方等が分かるA4サイズの下敷版

（注2）「こども手帳“ぼくも、わたしも社会の一員”」

小学生向けの手帳で、交通事故、事件・犯罪等から「自分の体やいのちを自分で守る方法」や、人を助けたりエコを心がけたりなどの大人になるための大切な心がけを掲載

目次

調査概要	3
対象者プロフィール	4
保護者・教諭編(共通設問)「公衆電話の利用実態について」	
・公衆電話の利用経験(最近1年間) / 利用頻度	6
・携帯電話の保有状況 / 近隣での公衆電話の数	7
・公衆電話利用時に困ったこと / 困った内容	8
保護者編「安全マップ / こども手帳について」	
・「安全マップ」利用状況	10
・「安全マップ」の内容の分りやすさ / 分りづらい内容	11
・「こども手帳」の閲読状況 / 感心を持ったテーマ	12
教諭編「安全マップ / こども手帳について」	
・「安全マップ」の教材活用状況 / 活用内容 / 要望・改善点	14
・「こども手帳」の教材活用状況 / 活用内容 / 要望・改善点	15
児童編「安全マップ / こども手帳について」	
・「安全マップ」の保有場所 / 使用状況(下敷きとして使用)	17
・公衆電話の場所確認(安全マップ使用) / 「災害用伝言ダイヤル171」の内容	18
・「こども手帳」の閲読状況 / 感心を持ったテーマ	19
・公衆電話への要望	20
東日本大震災前後の公衆電話利用実態	
・東日本大震災における公衆電話の利用実態	22
・東日本大震災における公衆電話の利用実態～困った理由～	23

調査概要

【趣旨】

公衆電話の利用動向調査については、既に「公衆電話教室」を開催した児童を対象に実施（第158回理事会〔H22.2.5〕で報告）しましたが、この度は、「保護者」「教諭」を対象にアンケート調査を実施しましたので、報告します。

なお、アンケートの実施時期が、学校により東日本大震災の前後にまたがったことから、震災前後の公衆電話利用実態のデータ比較も行いました。

また、「安全マップ」「こども手帳」を配付した児童、保護者、教諭を対象に利用状況、使い勝手、要望、改善点などについてアンケートを実施しましたので、併せて報告します。

アンケート実施小学校及び収集数

エリア区分	実施小学校	実施時期	児童用	保護者用	教諭用	合計
都会	新宿区立小学校	2011年2月	278	255	12	545
	武蔵野市立小学校	2011年2月	346	244	8	598
ベッドタウン	立川市立小学校	2011年2月	164	215	14	393
	八王子市立小学校	2011年2月	361	269	15	645
郊外	相模原市立小学校	2011年2月	59	43	5	107
合計			1,208	1,026	54	2,288

配布数	回収数	回収率
6,925票	2,288票	33.0%

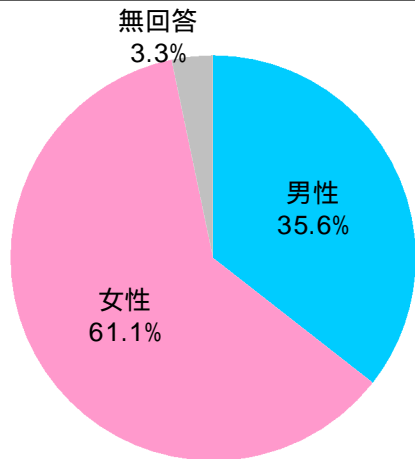
* 立川市立小学校の保護者のみ、実施時期が4月

対象者のプロフィール

N = 1026

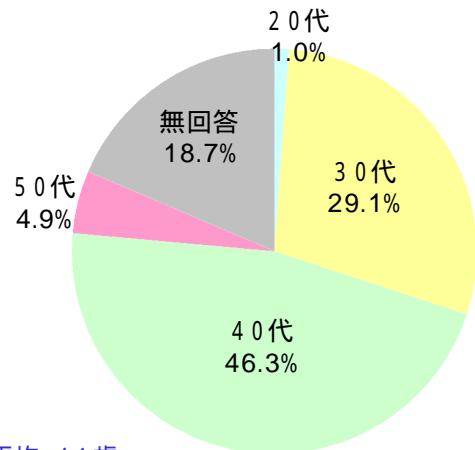
性別

■ 男性 ■ 女性 ■ 無回答



年代

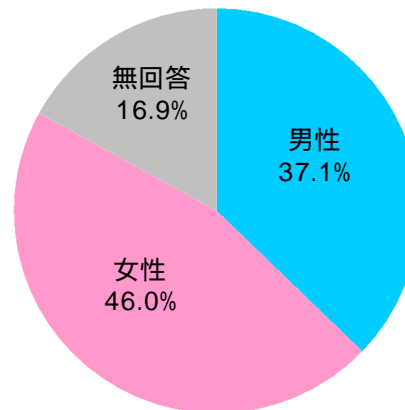
■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 無回答



平均: 41歳

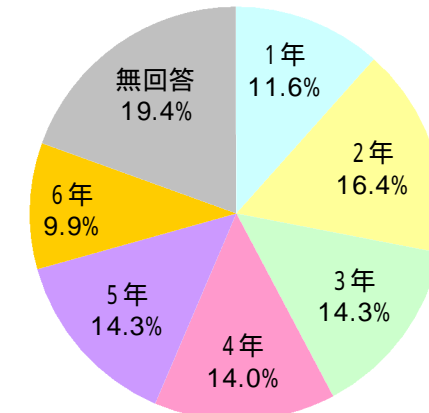
子どもの性別

■ 男性 ■ 女性 ■ 無回答



子どもの学年

■ 1年 ■ 2年 ■ 3年 ■ 4年 ■ 5年 ■ 6年 ■ 無回答

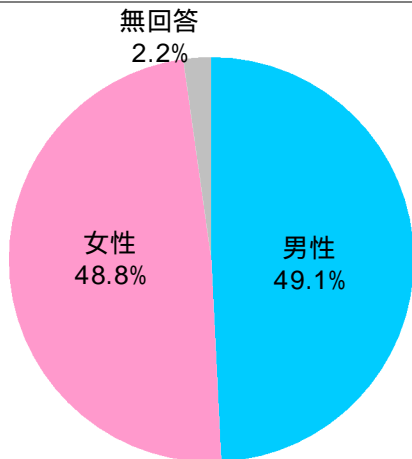


保護者

N = 1208

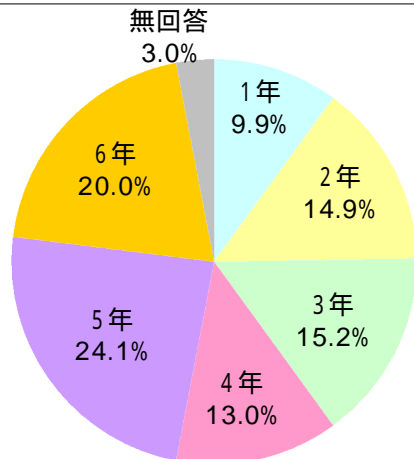
性別

■ 男性 ■ 女性 ■ 無回答



学年

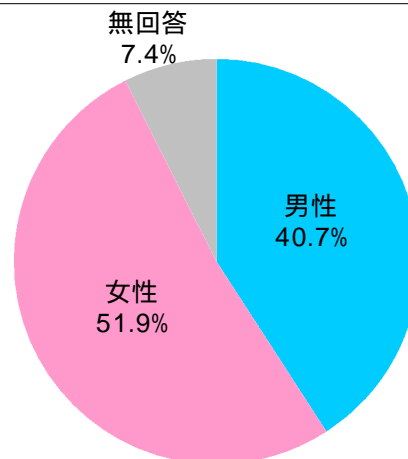
■ 1年 ■ 2年 ■ 3年 ■ 4年 ■ 5年 ■ 6年 ■ 無回答



N = 54

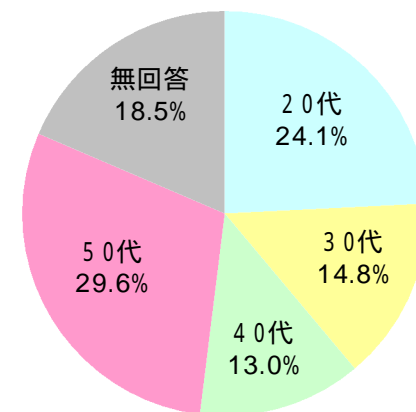
性別

■ 男性 ■ 女性 ■ 無回答



年代

■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 無回答



平均: 41歳

児童

教諭

～ 保護者・教諭編(共通設問)～ 「公衆電話の利用実態」について

調査数: 1080件(保護者: 1026件 / 教諭54件)

* 集計軸のエリアの定義

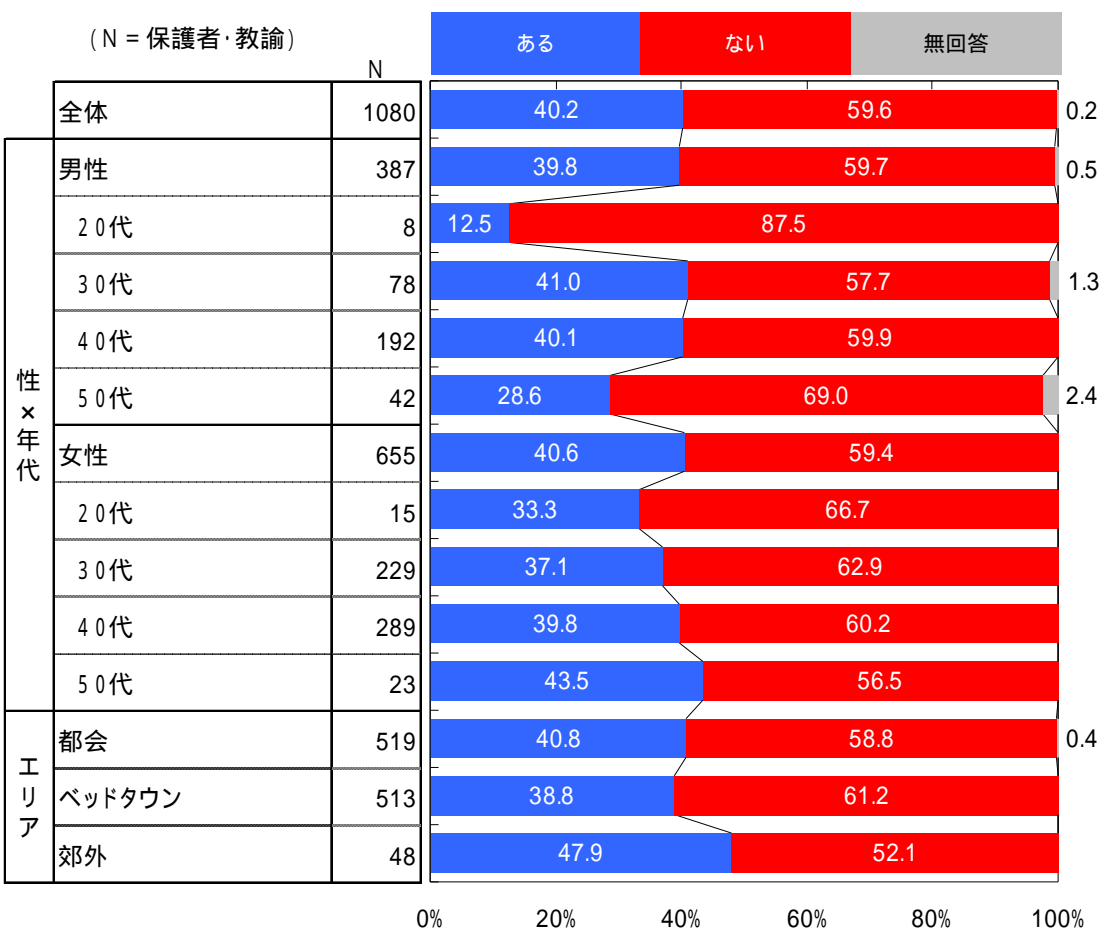
都会・・・新宿区立小学校、武蔵野市立小学校
ベッドタウン・・・立川市立小学校、八王子市立小学校
郊外・・・相模原市立小学校

〔質問1-1〕最近1年間に公衆電話を使ったことがありますか？

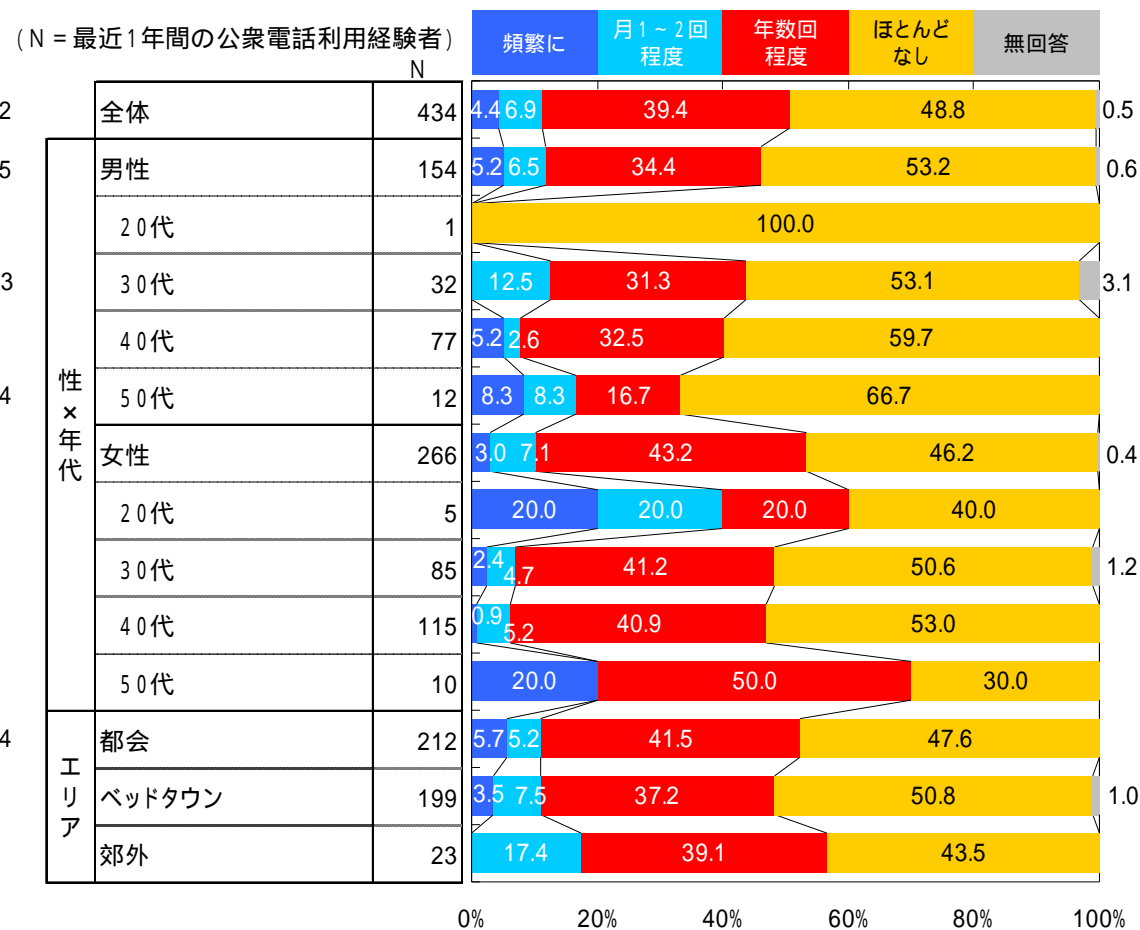
〔質問1-2〕公衆電話をどの程度使っていますか？（質問1-1であると答えた場合のみ回答）

最近1年間に公衆電話を使ったことがある人は、「ある」(40.2%)で、「ない」(59.6%)となった。
 性別/年代別/エリア別に見ると大きな差はないが、エリアの中では、郊外の利用経験者あり(47.9%)が少し高くなっている。
 上記の「最近一年間に公衆電話を使ったことがある人」の利用頻度は、「ほとんどなし」(48.8%)ともっとも高く、最近1年間で「使ったことがない人」を含めると、(79.2%)がほとんど使っていない。
 利用経験者の半分以上(50.7%)は年数回以上公衆電話を利用しており、性別、エリア別については大きな差はない。

〔質問1-1〕公衆電話の利用経験(最近1年間)



〔質問1-2〕公衆電話の利用頻度



〔質問2〕携帯電話を持っていますか？

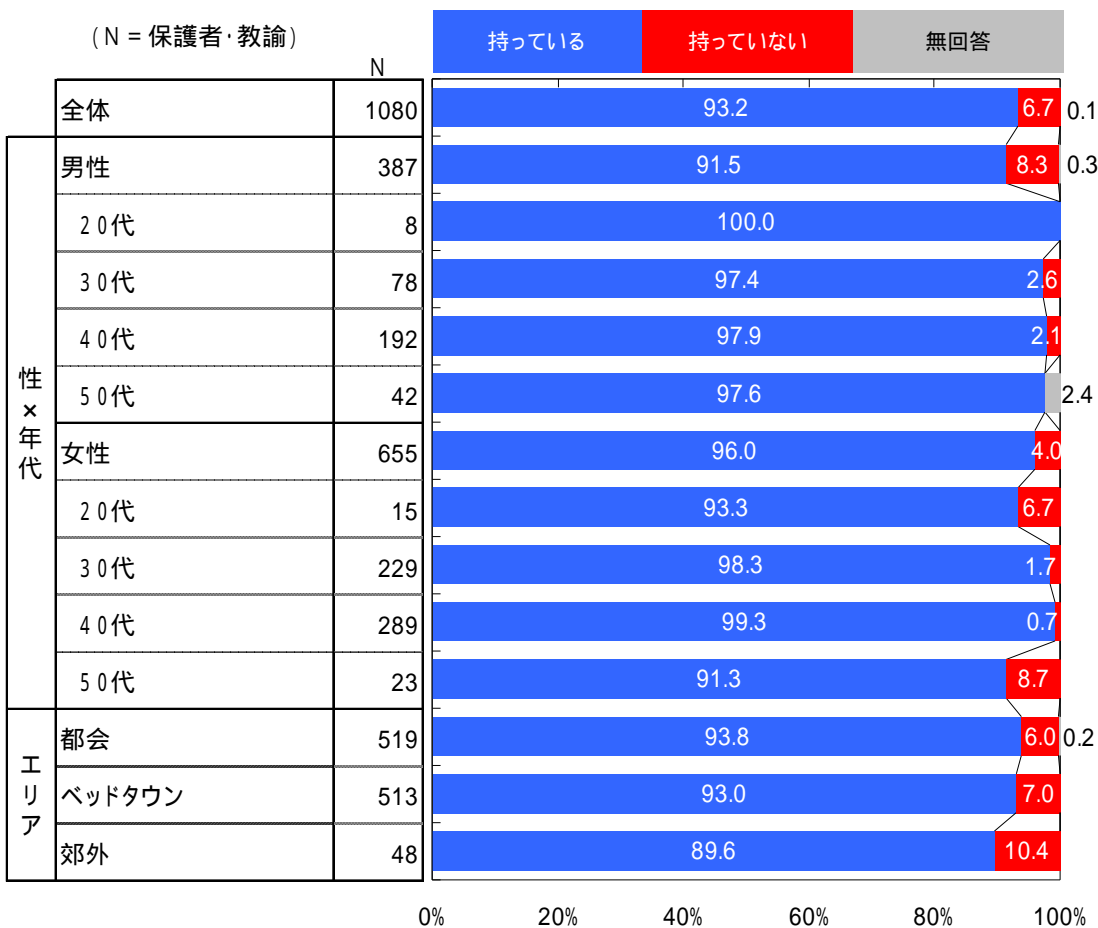
〔質問3〕あなたの近隣で公衆電話の数は足りていると思いますか？

【携帯電話の保有状況】は、「持っている」(93.2%)であり、全体的に保有率が高くなっている。

【近隣での公衆電話の数】は、「ちょうどいい・多すぎる」(24.2%)、「少なすぎる・やや足りない」(42.6%)であり、約4割の人が公衆電話の数が足りないと感じている。

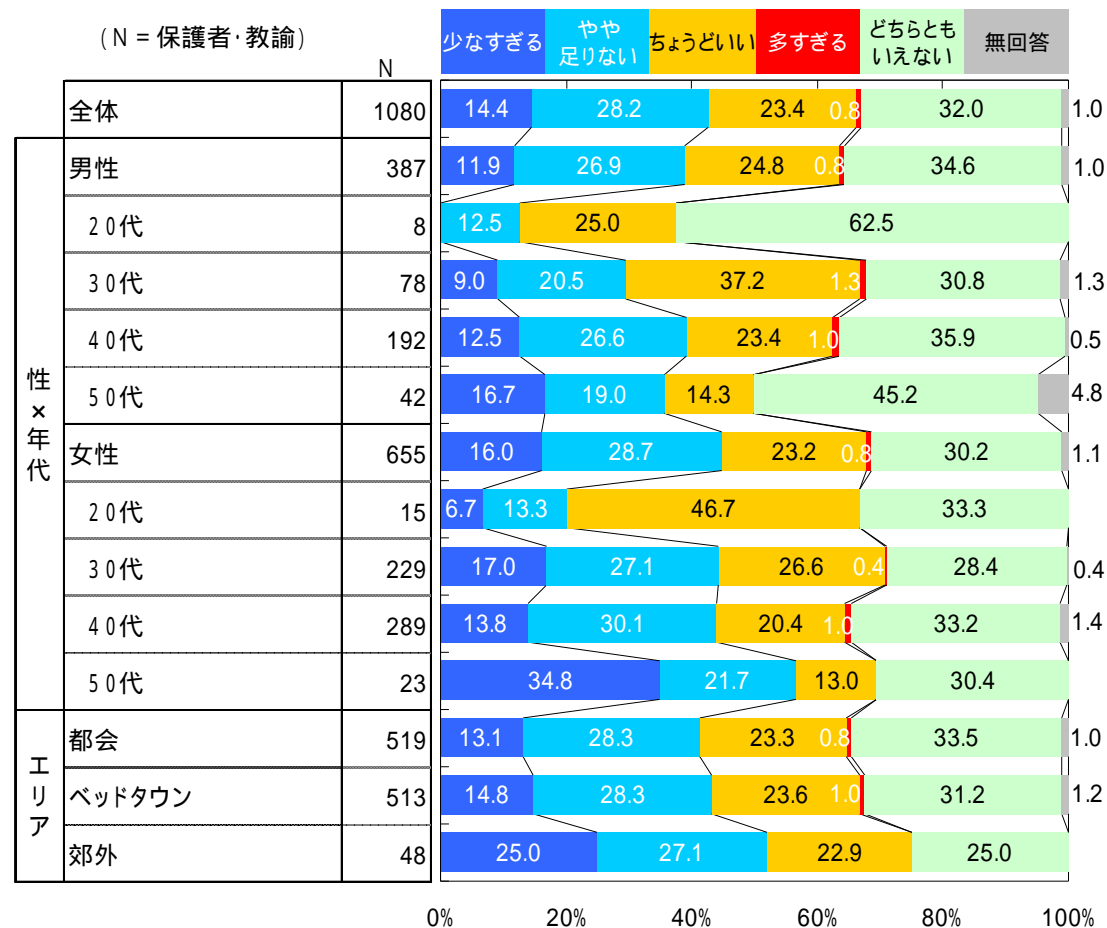
〔質問2〕携帯電話の保有状況

(N = 保護者・教諭)



〔質問3〕近隣での公衆電話の数

(N = 保護者・教諭)

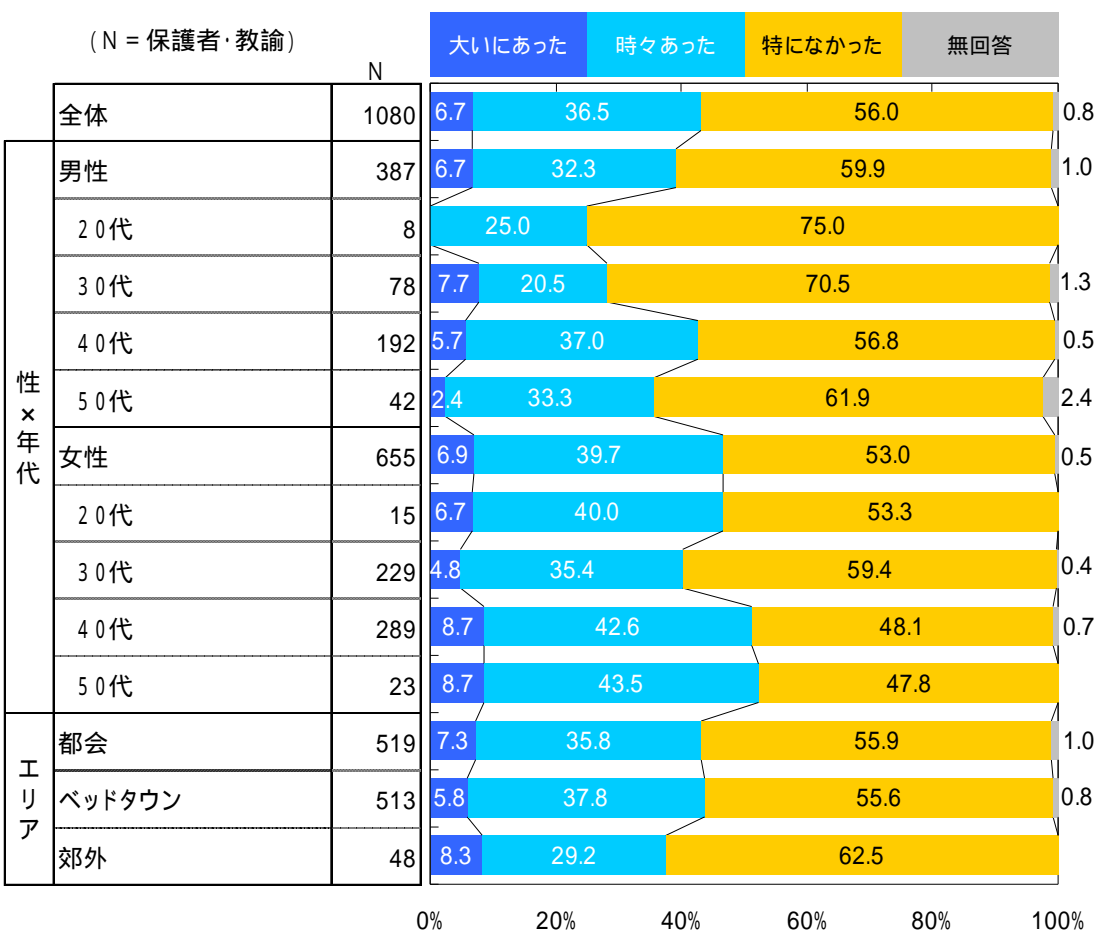


(質問4-1) あなたはこれまでに公衆電話を利用した際に困ったことはありましたか？
 (質問4-2) どのようなことでお困りになりましたか？ (質問4-1である場合のみ回答)

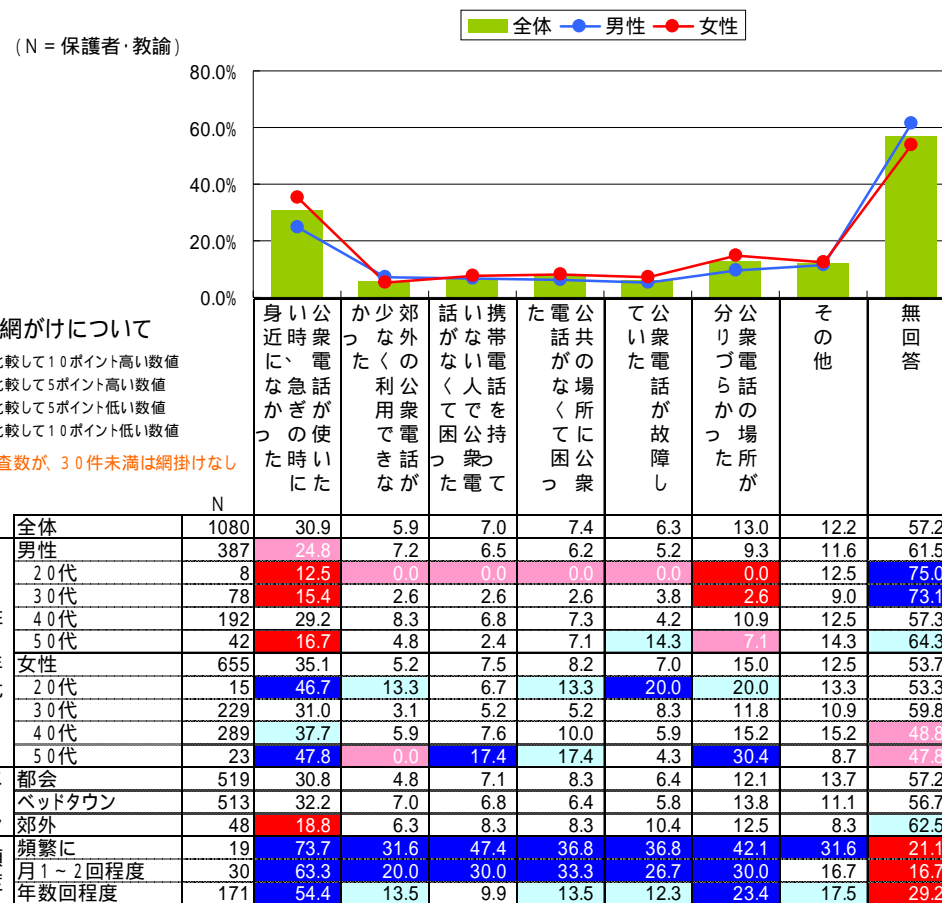
「公衆電話利用時に困ったこと」の質問に対しては、「大いにあった」「時々あった」(43.2%)、「特になかった」(56.0%)となった。性/年代別で比較すると、女性は(46.6%)となり、男性(39.0%)よりも高くなっている。

「公衆電話利用時に困った理由」では、前頁の(質問3)「近隣での公衆電話の数」で約4割が足りていないと回答している事もあり、「使いたい時、急ぎの時に身近になかった」(30.9%)が最も高くなっている。また、その他の回答例では「小銭がない」が49件と最も多かった。利用頻度が高い人ほど、公衆電話を利用したいときに身近になく困った経験をしていることが多くあった。

(質問4-1) 公衆電話利用時に困ったことがある



(質問4-2) 公衆電話利用時に困った理由



(その他回答例)
 「小銭がない(49件)」「カード専用電話(13件)」「故障(11件)」「テレホンカードが使えない(10件)」「衛生面(9件)」「おつりが出ない(8件)」など

*集計軸の「頻度」は公衆電話の利用頻度を意味する

～ 保護者編 ～ 「安全マップ」「こども手帳」について

調査数: 1026件

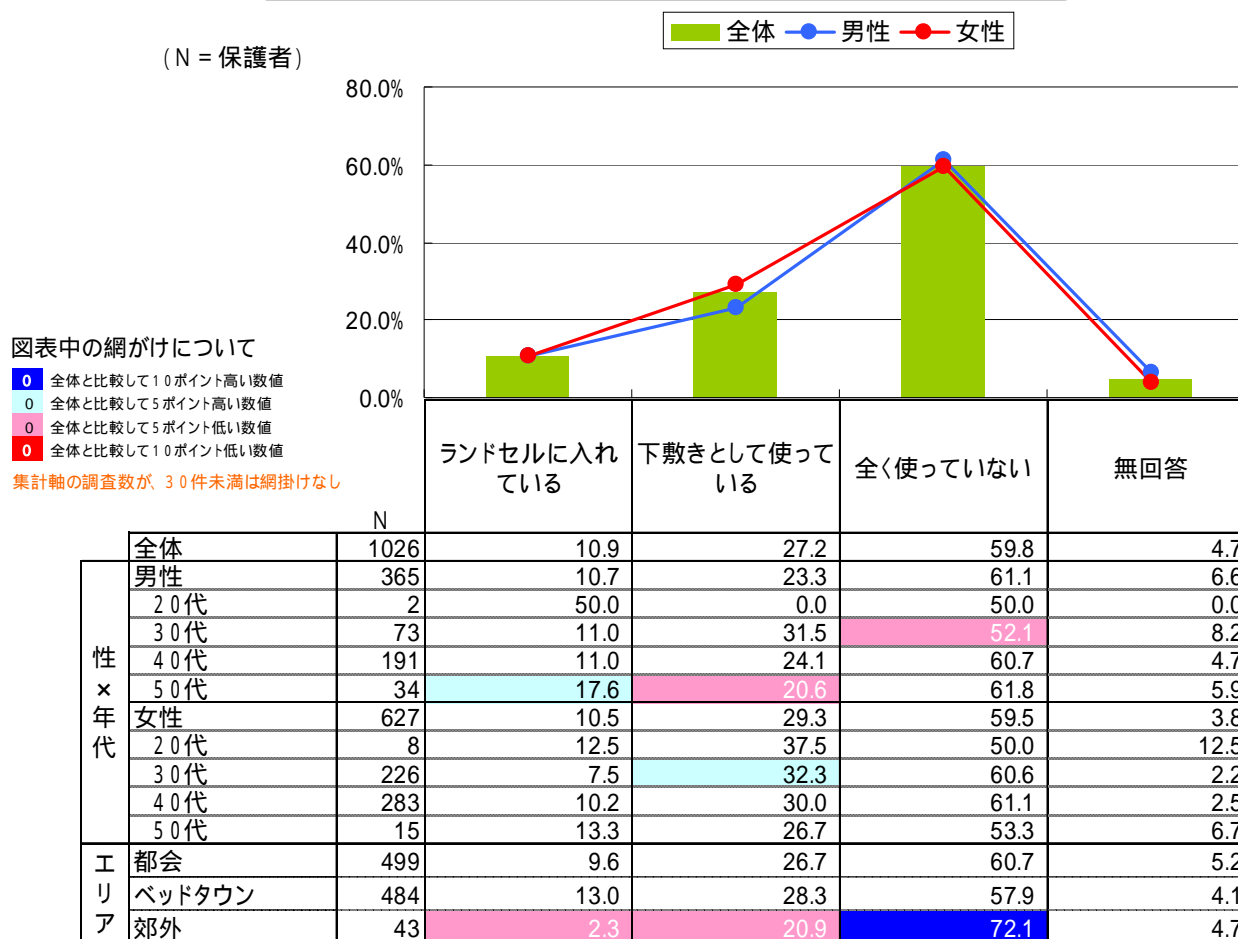
* 集計軸のエリアの定義

都会・・・新宿区立小学校、武蔵野市立小学校
ベッドタウン・・・立川市立小学校、八王子市立小学校
郊外・・・相模原市立小学校

〔質問1〕「安全マップ」をお子さんは使っていますか？

保護者から見た「安全マップ」利用状況は、「ランドセルに入れてある・下敷きとして使っている（利用）」(38.1%)となったが、児童の回答〔後述〔p.17〕〕では(60.8%)となっており、乖離がでている。

〔質問1〕子どもの「安全マップ」利用状況



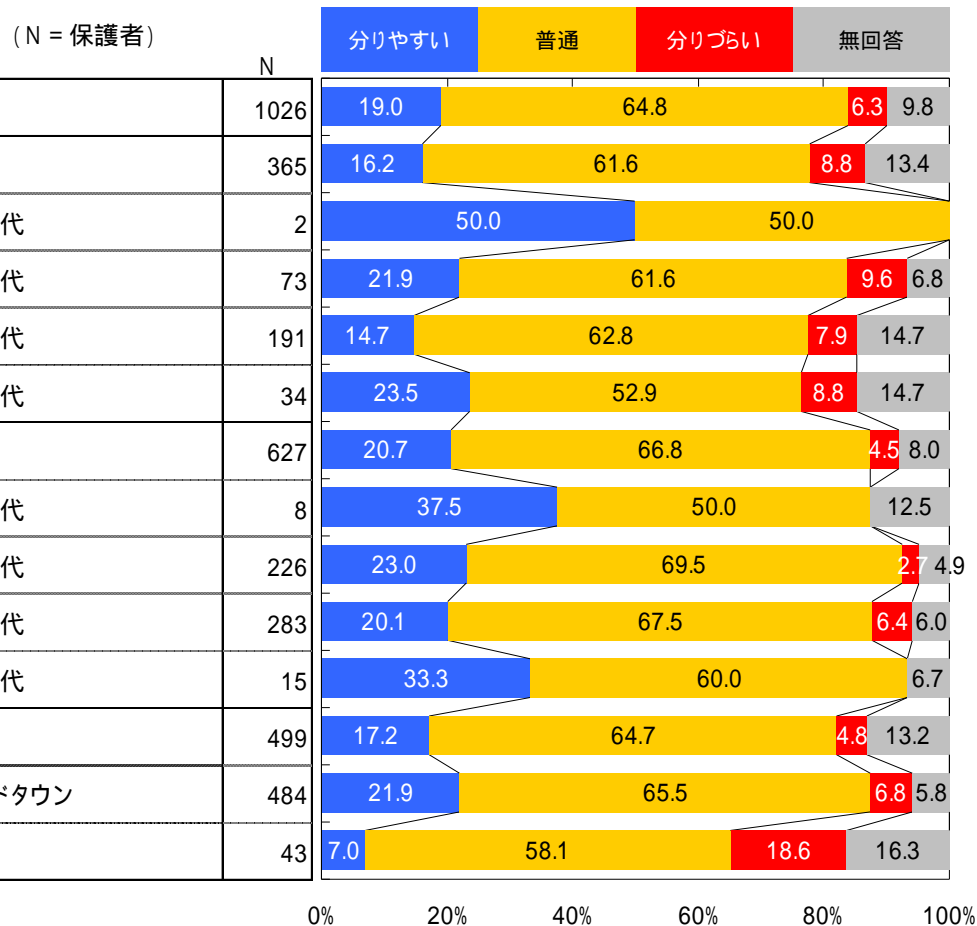
〔質問2-1〕安全マップの内容は分かりやすいですか？

〔質問2-2〕どこが分かりづらいですか？（質問2-1で「分かりづらい」と答えた場合のみ回答）

「安全マップ」の内容については、「分かりやすい」（19.0%）、「普通」（64.8%）であり、全体の（83.8%）の人が内容に関して満足している。

「安全マップ」について分かりづらいコメントの中には、「低学年にわかりやすくしてほしい」「危険な場所を示してほしい」などの要望の他に、「安全マップを見たことがない」保護者もいた。

〔質問2-1〕「安全マップ」の内容の分かりやすさ



〔質問2-2〕「安全マップ」の分かりづらい内容

(基数 = 分かりづらい者)

性×年代	FA内容
男性30代	1年生には分かりにくい。低学年にはもう少し最低限の内容で良いのでは？緊急のみ、171のみなど
男性30代	知りません。安全マップとは何ですか？
男性30代	低学年用・高学年用に分けるべき(漢字の使い方)地図が更新されない(コンビニエンスストアなどの目印など)
男性40代	一年生が使うには、地図が本格的すぎる。
男性40代	いろいろ書き込みすぎていて、分かりづらい
男性40代	安全マップって一体全体なに？
男性50代	目印が少ない。
女性30代	町名より、施設名を太字にした方が良いと思う。
女性30代	見たことがないのでわかりません
女性30代	車の量など、危険な所を記入してほしい。
女性40代	自宅付近が情報が無い(越境入学のため)
女性40代	そもそも安全マップというのがわからない。
女性40代	子どもが見る分には、もっと視覚的にわかりやすくしてほしい(ひらがな使用、地図をイラスト化など)

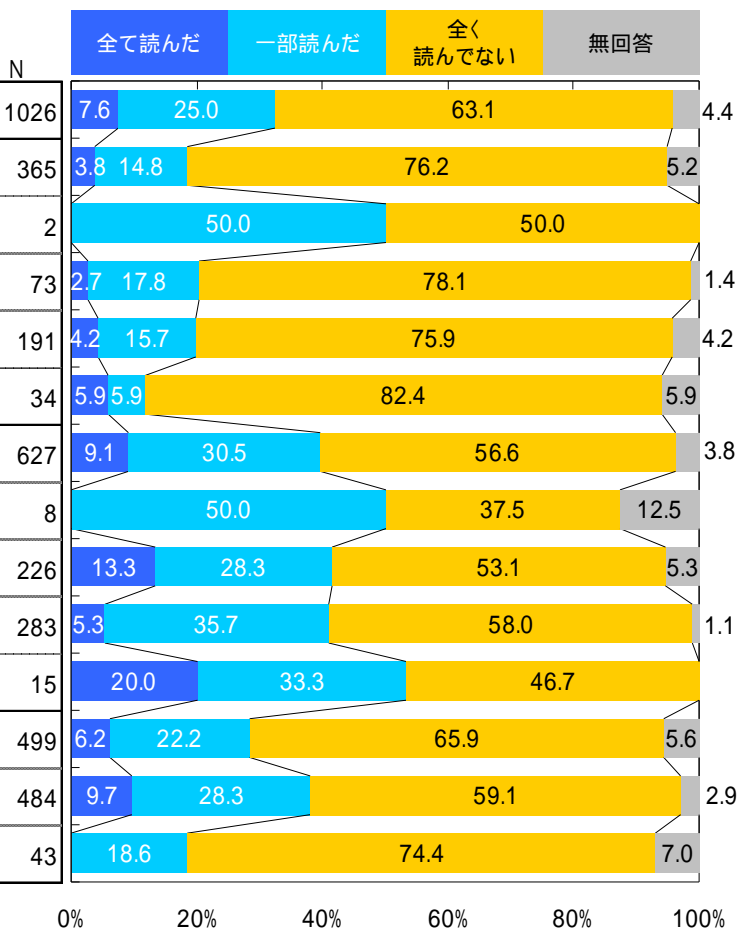
〔質問3〕「こども手帳」はお読みになりましたか？

〔質問4〕どのテーマに関心を持ちましたか？（質問3で「全て読んだ」「一部読んだ」場合のみ回答）

「こども手帳」の閲読状況は、「全て読んだ・一部読んだ（閲読）」（32.6%）であり、性/年代別についてみると、**女性（母親）**の閲読（39.6%）は、**男性（父親）**の閲読（18.6%）よりも高くなっており、女性（母親）の方が関心が高い。保護者が「こども手帳」に関心を持ったテーマは、「交通安全」や「犯罪から自分の身を守ること」など、子どもの身の安全に関するものが多かった。

〔質問3〕「子ども手帳」の閲読状況

(N = 保護者)



〔質問4〕「子ども手帳」の感心を持ったテーマ

(基数 = 閲読者)

性×年代	FA内容
男性30代	交通安全が最も気になります。
男性30代	事件・犯罪から身を守ること。
男性30代	事故を起こさないこと
男性40代	第1章～第3章は特に子供にわかりやすい内容で良かったです。
男性40代	家から学校までの地図を書き、危険があるか確認する所
男性40代	緊急通報のしかた
男性50代	事故を起こさないこと
男性50代	人を助けること
女性20代	第2章事件・犯罪から身を守ること。
女性30代	危険予測に焦点を置いた安全マニュアルについて
女性30代	事件・犯罪から身を守ること。エコを心がけること。
女性30代	あえていえば、事故を起こさない(すべてのテーマが興味深かったです)
女性40代	人を助けること。インターネットを正しく使うこと。
女性40代	この日どんな記念日かというところをこどもが楽しく読んでいました。
女性40代	犯罪から見を守るが最もインパクトがありましたが、他のテーマも現実的で参考になりました。
女性50代	今日は何の日？
女性50代	第一章の事故を起こさないこと

～ 教諭編 ～ 「安全マップ」「こども手帳」について

調査数: 54件

*** 集計軸のエリアの定義**

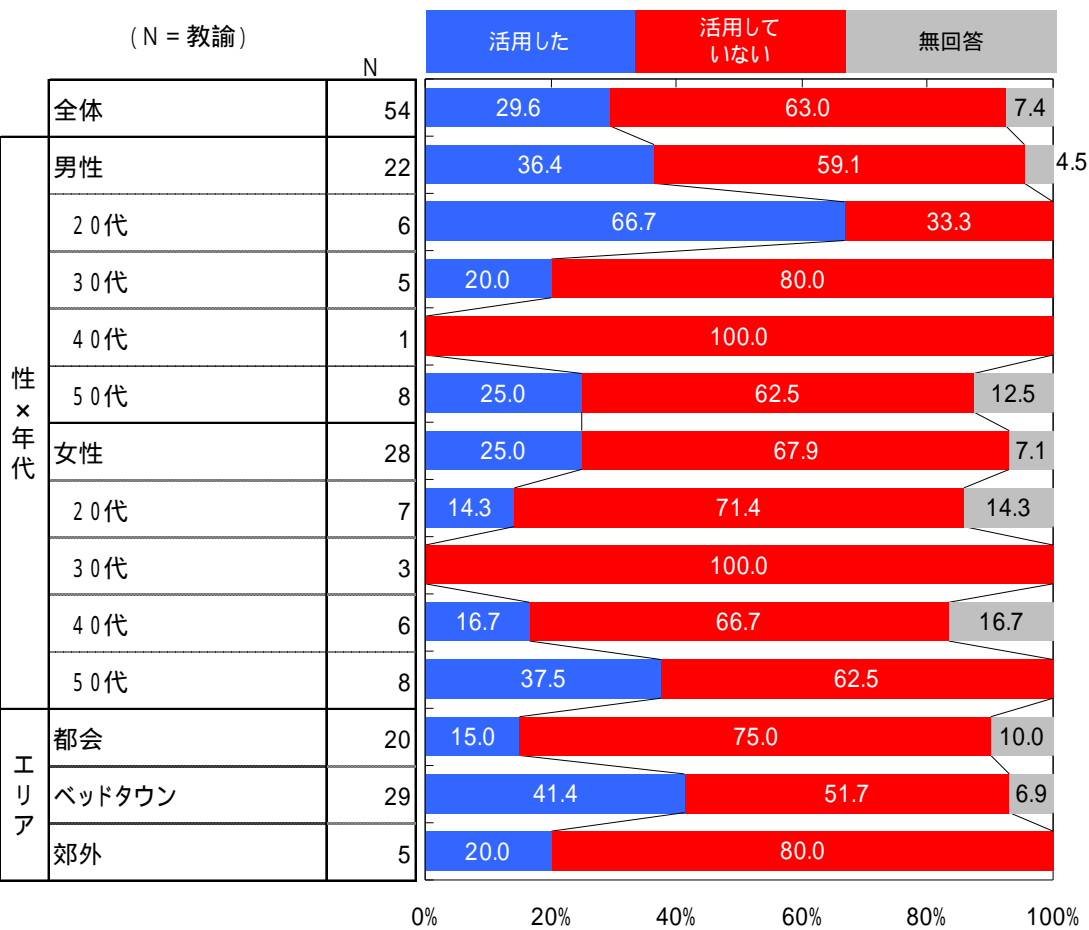
都会・・・新宿区立小学校、武蔵野市立小学校
ベッドタウン・・・立川市立小学校、八王子市立小学校
郊外・・・相模原市立小学校

〔質問1-1〕「安全マップ」を教材として活用されましたか？

〔質問1-2〕活用例を具体的に教えてください。(質問1-1である答えた場合のみ回答)

「安全マップ」の活用状況は、「活用した」(29.6%)「活用していない」(63.0%)となっている。
 エリア別では、立川市、八王子市などベッドタウンで活用される傾向があった。
 「安全マップ」は、「危険な場所を教える」、「地図を見ながら公衆電話の場所を確認する」、「地域探検」など、安全指導の一つとして活用する例があがった。

〔質問1-1〕「安全マップ」の教材活用状況



〔質問1-2〕「安全マップ」の教材活用内容

(基数 = 活用者)

性×年代	FA内容
男性20代	2年生と6年生で地域をまわって調べ、作成しました。
男性20代	安全指導の一つとして
男性20代	危険な場所を伝えた。
男性30代	マップを見ながら公衆電話の場所を確認した。
男性50代	授業に使う機会がなかった。総合等で活用する道はいっぱいある。
女性20代	3年の社会科「わたしたちのまち」で活用した。
女性40代	地域探検をしたので、その学習と合わせて確認をした。
女性50代	配付し指導した。(生活について)
女性50代	不審者が出た場所を示す
女性50代	学区の公衆電話の場所を確認し報告しあった。

〔質問2-1〕「こども手帳」を教材として活用されましたか？

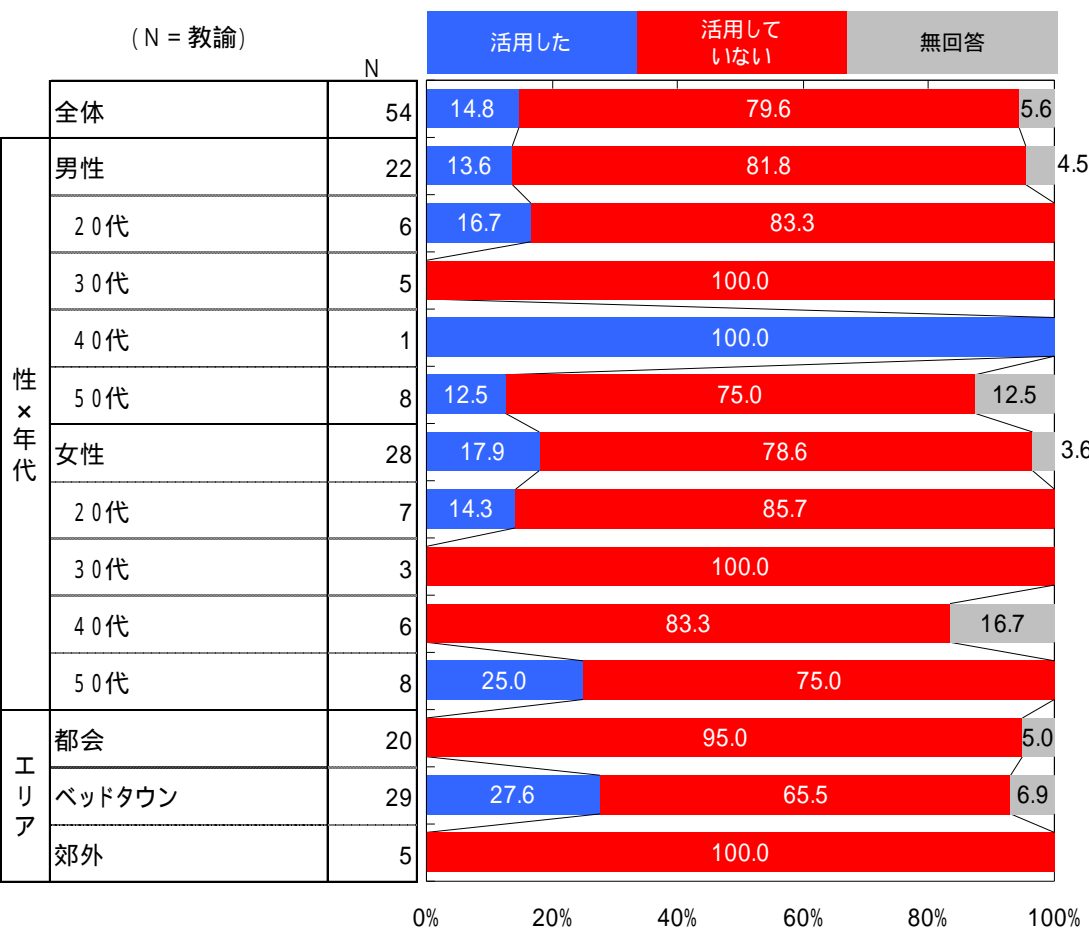
〔質問2-2〕活用例を具体的に教えてください。〔質問3〕「安全マップ」「こども手帳」を改善して欲しいことがあれば教えてください。

「こども手帳」の活用状況は、「活用している」(14.8%)、「活用していない」(79.6%)と回答しており、前頁(p.14)の「安全マップ」の活用状況(29.6%)よりも低くなっている。

「こども手帳」の活用方法は、「安全について家族と考える」、「災害伝言ダイヤルの説明」などの他、「今日は何の日」を利用して授業を活発に進める例もあった。

「安全マップ」「こども手帳」の要望・改善点の中には、「シンプルさ」、「イラスト入りで子供にも分かりやすい」と評価する声もあったが、学年によっては内容が難しいとの声もあった。

〔質問2-1〕「こども手帳」の教材活用状況



〔質問2-2〕「こども手帳」の教材活用内容

(基数 = 活用者)

性×年代	FA内容
男性20代	家で家族で見るように指示した。
男性40代	今日は何の日かを確認した
女性20代	「今日は何の日」のようなものは、子どもが、大ききで授業の中で使った。
女性50代	保護者と一緒に本を読んで安全を守る
女性(年齢未記入)	公衆電話や災害用伝言ダイヤルがのっているページを紹介した。

〔質問3〕「安全マップ」「こども手帳」の要望・改善点

(基数 = 教諭)

性×年代	FA内容
男性50代	安全マップはとても分かりやすくイラストされています。低学年の子には地域を大きくつかまえる最適な資料になります。活用できるが、教師の意識の仕方によって大差でると思います。
女性(年齢未記入)	3年生にはむづかしいページもありましたが、興味のある子はよく読んでいた。

～ 児童編～ 「安全マップ」「こども手帳」について

調査数：1208件

* 集計軸のエリアの定義

都会・・・新宿区立小学校、武蔵野市立小学校
ベッドタウン・・・立川市立小学校、八王子市立小学校
郊外・・・相模原市立小学校

〔質問1〕安全マップはどこに入っていますか？

〔質問2〕安全マップを下敷きとして使っていますか？

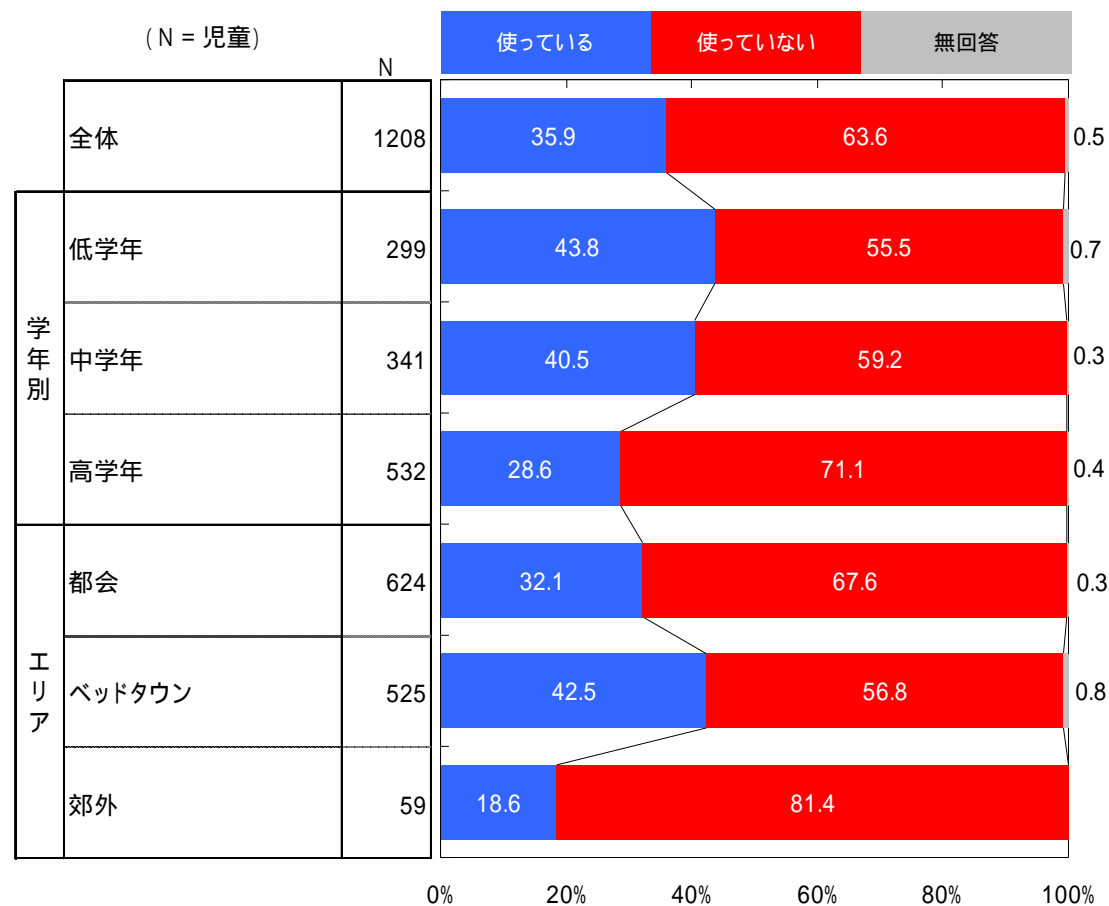
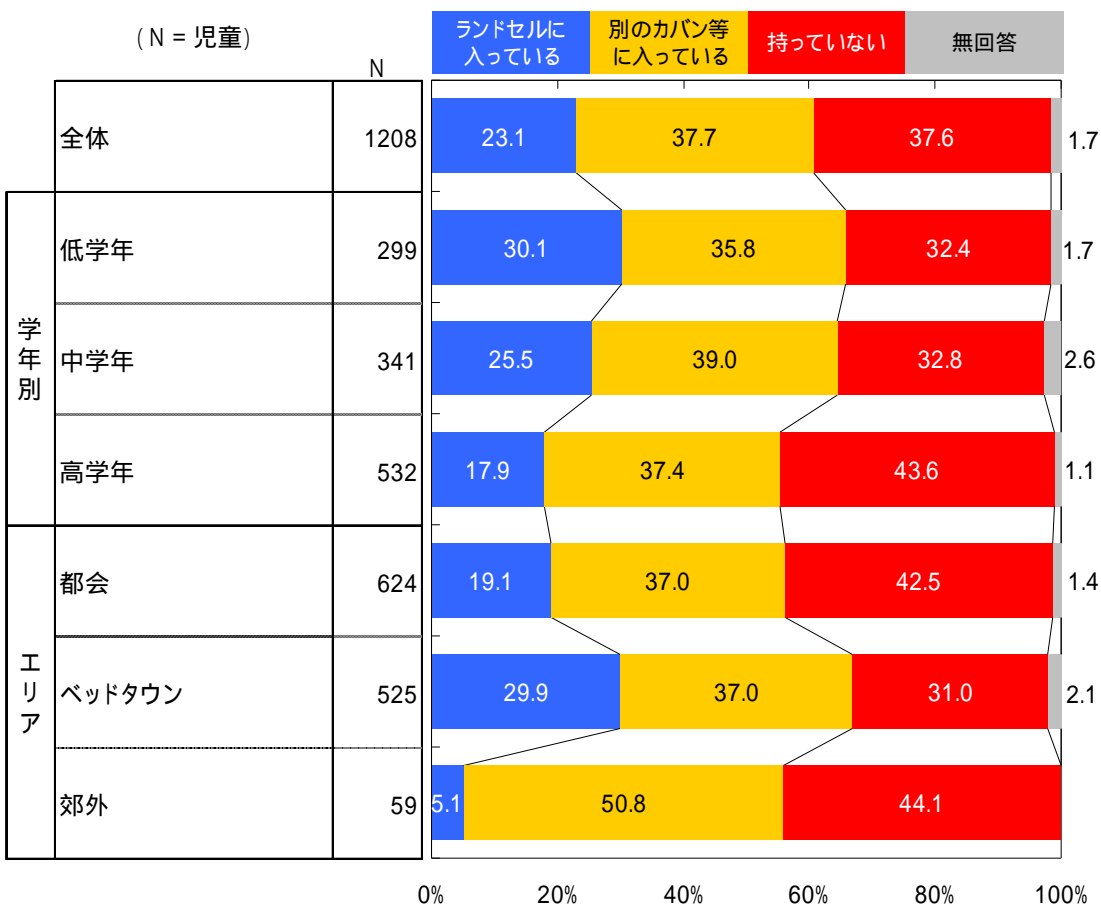
「安全マップ」の保有場所は、「ランドセル・別のカバン等に入っている(保有)」(60.8%)であり、学年別についてみると、**低学年(1~2年生)**の保有(65.9%)は最も高く、**高学年(5~6年生)**になるほど保有(55.3%)は若干低くなっている。「安全マップ」の使用状況(下敷きとして使用)は、「使っている」(35.9%)であり、学年別についてみると、**低学年(1~2年生)**の使用(43.8%)は最も高く、**高学年(5~6年生)**になるほど使用(28.6%)は低くなっている。

〔質問1〕「安全マップ」の保有場所

〔質問2〕「安全マップ」の使用状況(下敷きとして使用)

(N = 児童)

(N = 児童)

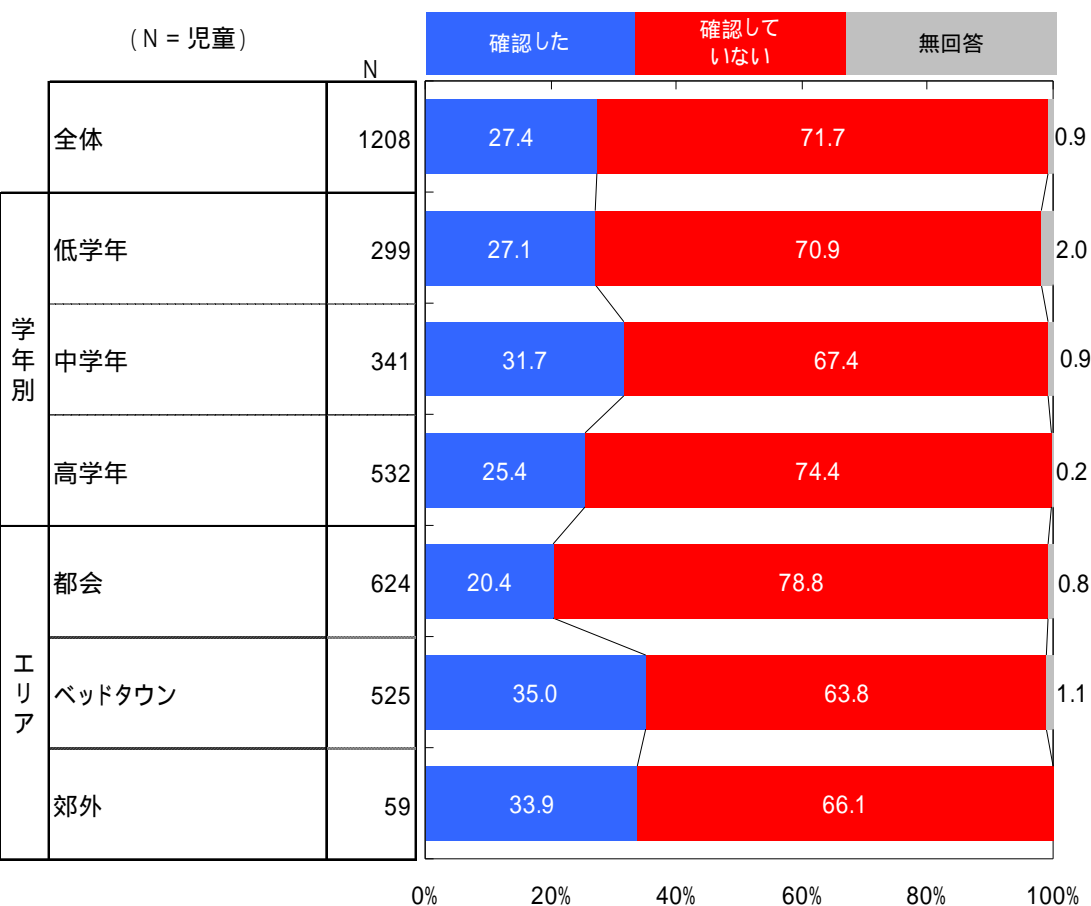


〔質問3〕「安全マップ」を使って公衆電話の場所を確認しましたか？

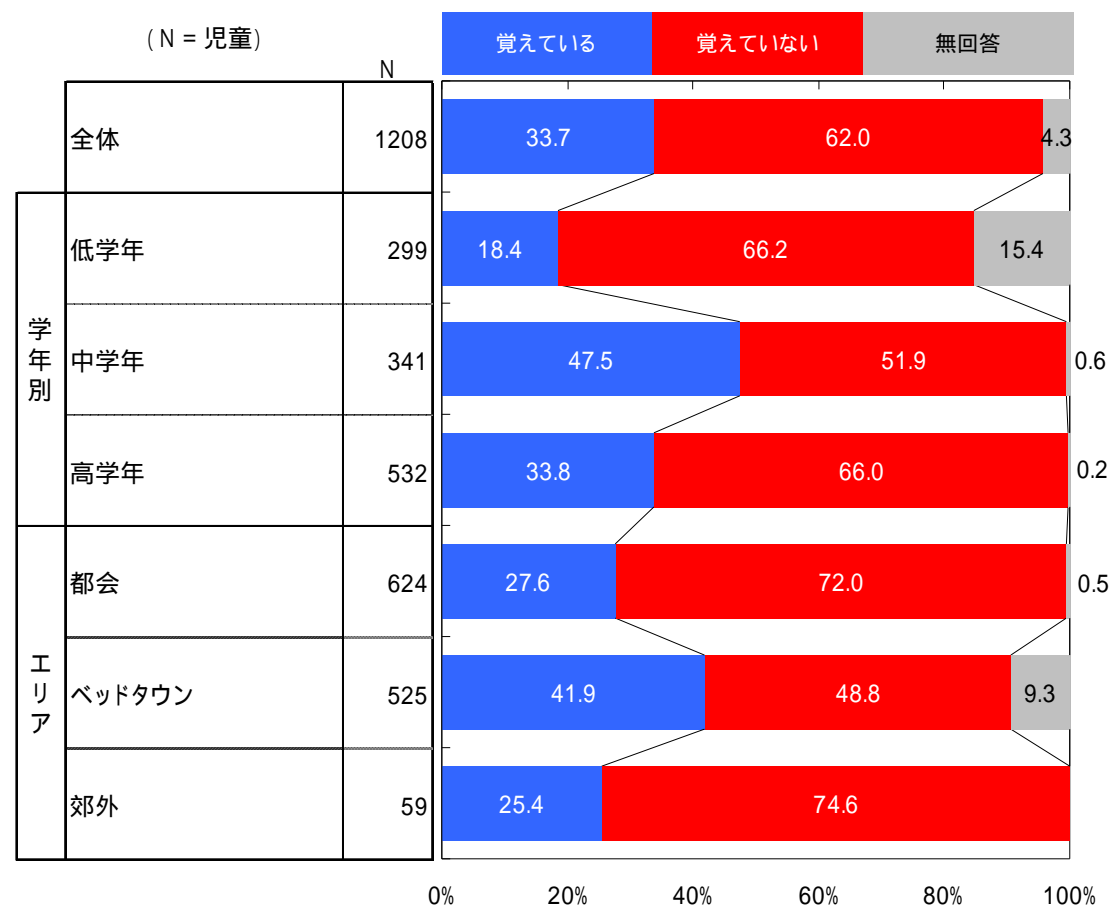
〔質問4〕「災害伝言ダイヤル171」の内容は覚えていますか？

公衆電話の場所確認(安全マップ使用)は、「確認した」(27.4%)で「確認していない」(71.7%)となった。
 「災害用伝言ダイヤル171」の内容は、「覚えている」(33.7%)であり、学年別についてみると、**中学年(3~4年生)**
 が「覚えている」(47.5%)と最も高くなっている。
 エリア別についてみると、**ベッドタウン**が「覚えている」(41.9%)と最も高くなっている。

〔質問3〕公衆電話の場所確認(安全マップ使用)



〔質問4〕「災害用伝言ダイヤル171」の内容



〔質問5-1〕「こども手帳」は読みましたか？

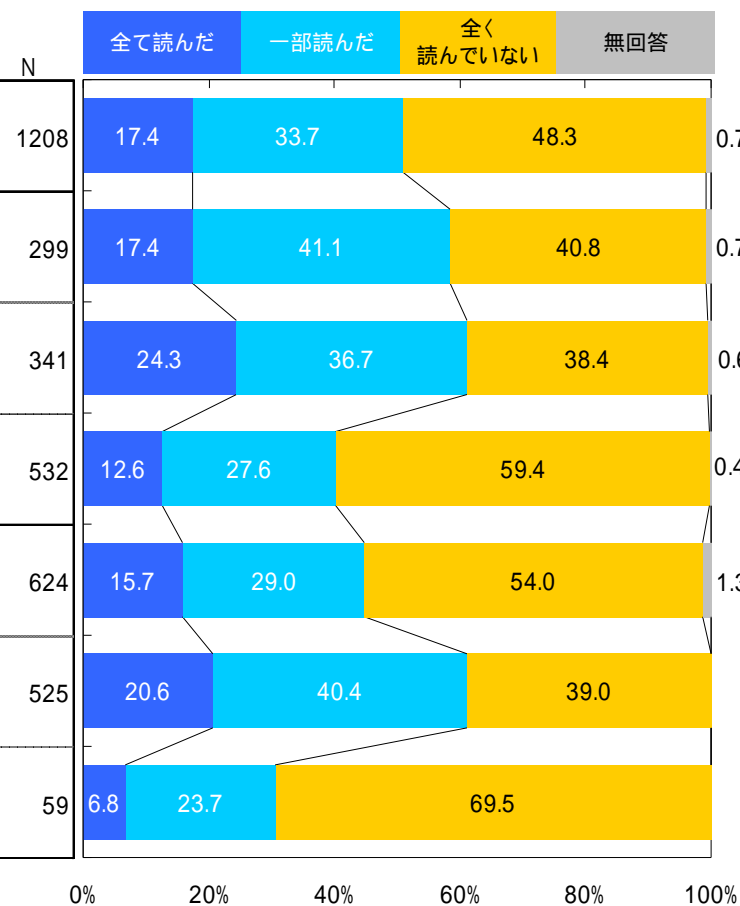
〔質問5-2〕どの内容に関心を持ちましたか？

「こども手帳」の閲読状況は、「全て読んだ・一部読んだ(閲読)」(51.1%)であり、学年別についてみると、**中学年(3～4年生)**の閲読(61.0%)と最も高くなっている。

「こども手帳」の関心を持ったテーマは、「交通安全」、「地球環境・エコ」、「自分の身を守ること」、など記事の他に、「今日は何の日?」、「安全マップ」などに関心を示していた。特に低学年(1～2年生)では、「安全マップ」にシールを貼って授業受けたことが楽しかったと感想を持つ児童が多かった。

〔質問5-1〕「こども手帳」の閲読状況

(N = 児童)



〔質問5-2〕「子ども手帳」の感心を持ったテーマ

(基数 = 閲読者)

性×年代	FA内容
小学校1年生	きょうはなんの日?のところ
小学校1年生	こうつルールが、かいてありました。あんぜんなことが、かいてありました。
小学校1年生	じぶんのマップとかシールがはれてつくれてよかった。
小学校2年生	なん月なん日なにの日とかかいているところにかんしんを、もちました。
小学校2年生	交つうルールのところが交つうルールをしらなかったのでやくにたった!
小学校2年生	えこの話がきにいりました。
小学校3年生	1人で遊んでいて、知らない人に声をかけられても、その人についていけないということ
小学校3年生	人を助けること(とくに、AEDの所)それと、「今日は何の日?」
小学校3年生	車がぶつかったりするところがわかりやすくてよかった。
小学校4年生	交通じごが多いこと。月日はの日なんだなーと思った。
小学校4年生	れいぞうこをパンパンにつめるとよくないという内容
小学校4年生	パリアフリーってなんだろう?で、声をかけるときのエチケットで、やってみよう、たいへんだな、と思いました。
小学校5年生	人を助けることやインターネットの使い方に感心を持った。
小学校5年生	感心をもった内容は、地球温暖化のページです。理由は、今、地球温暖化がすすんでいるのでエコなどの事とかかいてあるのでそこに感心もちました!!
小学校5年生	事故についてで、十字路にも意外と危ないことを感心を持ちました。
小学校6年生	災害の時の電話や、天気予報の電話など色々あるのだなと思いました。
小学校6年生	こどもがまきこませる犯罪の確率の高さ
小学校6年生	自転車の事故のことなどに感心もちました。ぼくは、自転車にのってるからよくよんでべんきょうすれば事故などは、おこらないかもしれないからです。

〔質問6〕「こんな公衆電話があったらいいな」と思うものを教えてください。(全学年の児童)

「もしドラえもんがいたら、どんな公衆電話を出して欲しいですか？(低学年の児童)

「こんな公衆電話があったらいいな」と思うものは、多岐にわたっており、具体的な内容は下表のとおり。特に多かった内容としては、「無料で話せる公衆電話」(367件)、「便利な公衆電話(動く/手軽に使える)」(153件)などの他、「災害のときに無料で使える」「災害伝言ダイヤル171」に関わるものなど災害を意識した回答もあった。

〔質問6〕公衆電話への要望

(基数 = 児童)

性×年代	FA内容
小学校1年生	その時おかねをもっていなくても、家に連絡ができたらいいな。
小学校1年生	階段のある 手が届くように。(ハシゴのある)公衆電話。
小学校1年生	英語でしゃべらなくても英語でしゃべる電話
小学校1年生	おうちにあるこうしゅうでんわ
小学校1年生	あいての名まえおえばじどうにかかるこうしゅうでんわ
小学校1年生	かぞくとつながるでんわ
小学校1年生	おかあさんにすぐつながるこうしゅうでんわ。
小学校1年生	友だちのばんごうをしらべられるこうしゅうでんわ
小学校2年生	時間がわかる公衆電話があったらいいな
小学校2年生	電話番号を言えばすぐ電話ができる公しゅう電話がほしいです。
小学校2年生	車いすの人や目のわるい人色んな人のための公しゅう電話がほしい
小学校2年生	体がふじゆうな人でもつかえやすい公衆電話
小学校2年生	でんはぼくすにはいって、むしをけしたりするでんはぼくすがいい
小学校2年生	はなす人のかおがうつるこうしゅうでんわがあったらいいな。なくしたものをさがすこうしゅうでんわがあったらいいな
小学校2年生	むりょうの公しゅう電話。歩く公しゅう電話
小学校2年生	1つぼたんをおすだけででんわができるの
小学校3年生	ファックスもできる公衆電話があったらいいです。まわりの人に聞こえない、見られないとうめいのがいいです。
小学校3年生	外見がかわいい公衆電話!!!
小学校3年生	お金を入れなくてもつながるでんわ。どこでもつかえるでんわ
小学校3年生	「171ダイヤル」がワンタッチでかけられる公しゅう電話があるといいと思う。
小学校3年生	お金ではなくスイカではらえるこうしゅう電話。
小学校3年生	ドアをしめてボタンをおしたらカギのしまるこうしゅうでん話
小学校3年生	レシート(何秒しゃべったか、何円使ったか。)ということレシートにまとめる。
小学校3年生	トイレもいっしょについている公衆電話です。なぜなら、さいがいのとときトイレにこまるので、それにすこしでもやくだてばいいなと思います。

(基数 = 児童)

性×年代	FA内容
小学校4年生	メールも送れる公衆電話
小学校4年生	カメラで人を確にんして人を確定し、電話をとただけで電話できるもの。
小学校4年生	177のやり方がわかるようになっている公しゅうでんわ
小学校4年生	自分の家の電話番号のはいったカードがあればお金がなくても電話がかけることが、できる。
小学校4年生	さいがい用伝言ダイヤル、171について。同じ10円で、テレビデンワにしたら、そのばのじょうきょうが、もっとよく伝わると思います。
小学校4年生	明るくてこわくない公しゅう電話があったらいいなと思う
小学校4年生	お金を使わないで(きんきゅう時)母や父に、安全だということをかくにんさせる。
小学校4年生	ボックスが大きくておとしりでもいすなどにすわって電話がかけられるボックス
小学校5年生	声で番号がにんしきできる公衆電話
小学校5年生	マンションなどの前にある電話
小学校5年生	お金を使わないで電話ができる公衆電話
小学校5年生	テレカに自動的に電話番号を登録する。
小学校5年生	・公衆電話を学校に1台おいてほしい (カードやコインで)連絡用に。
小学校5年生	災害時の時、公衆電話で災害用伝言ダイヤルを使うと人工衛星で、その場所や被害じょうきょうを相手に伝える公衆電話
小学校5年生	耳の不自由な人がしたら、モニターに相手が出た言葉がでてくる。
小学校5年生	ボックスの中が温度調節されているもの。
小学校6年生	お金のいらぬ公衆電話(いつでもだれでもつかえる)
小学校6年生	災害時にすぐ利用できるもの。・カードや現金が不要なもの
小学校6年生	ライト付きで、BOXなしの物(とじこめられるかも地しんの時...)もう少し小さい型の物。
小学校6年生	小ぜにだけではなく、おさつなども使える。
小学校6年生	耳の不自由な人でも電話できる公衆電話
小学校6年生	時間切れで、とつぜん切れてしまう時があるので、「あと何秒で切れるか」というのが分かる公衆電話。
小学校6年生	無料で使える公衆電話。車いすの人や背が小さい小人のために設置する位置を低くする。
小学校6年生	公衆電話のデザインをもっとカワイクしてほしい。(今、人気のキャラクターなど。)そうすると公衆電話がある場所がわかりやすい。

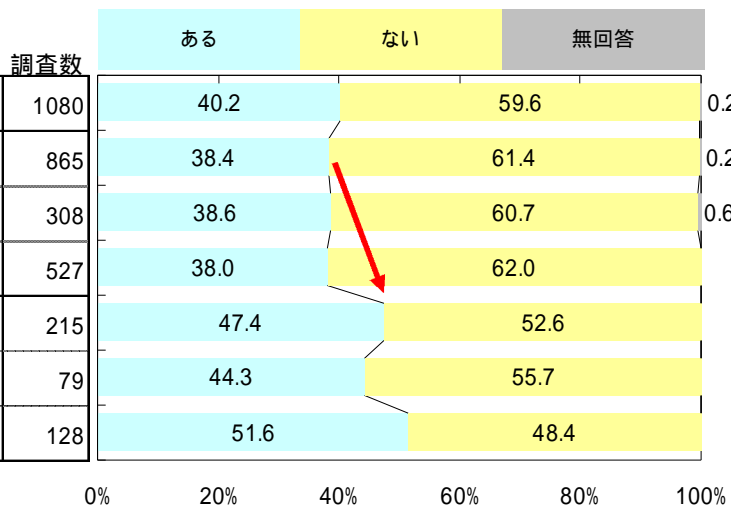
東日本大震災前後の公衆電話利用実態

東日本大震災における公衆電話の利用実態(教職員・保護者)

東日本大震災における公衆電話の利用実態を検証した。比較方法は、3月11日(金)の震災前に調査を実施した小学校【新宿区、武蔵野市、立川市(教諭のみ)、八王子市、相模原市の865件】と3月11日(金)の震災後に調査を実施した小学校【立川市(保護者のみ)の215件】のデータを抽出し比較をした。

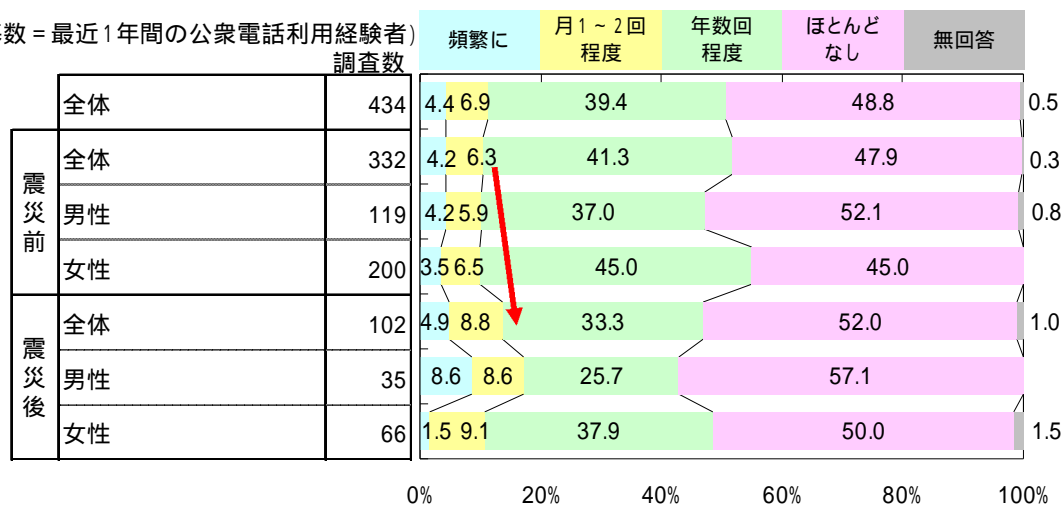
公衆電話の利用経験(最近1年間)

(基数 = 保護者・教諭)



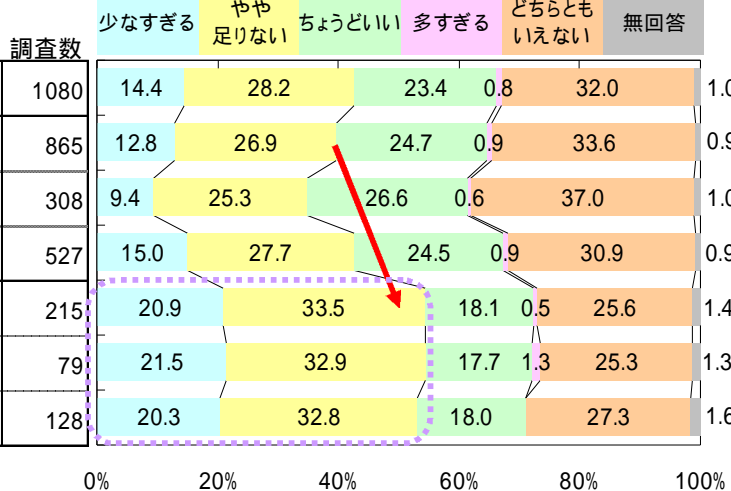
公衆電話の利用頻度

(基数 = 最近1年間の公衆電話利用経験者)



近隣での公衆電話の数

(基数 = 保護者・教諭)



利用経験別は、震災前は全体で38.4に対し、震災後では、全体で47.4%と1割弱上昇している。震災の影響で、携帯電話がつながりにくくなったことが背景であると推測できる。性別で見ると、男性より女性の方が震災後、公衆電話を利用した人が多い。

利用頻度は、震災前と震災後では大きな変化はみられなかった。

近隣での公衆電話の数は、少なすぎる～やや足りないと感じた人が、震災後では全体で54.4%となっている。震災前の39.7%と比べると足りないと感じた人が増えている。

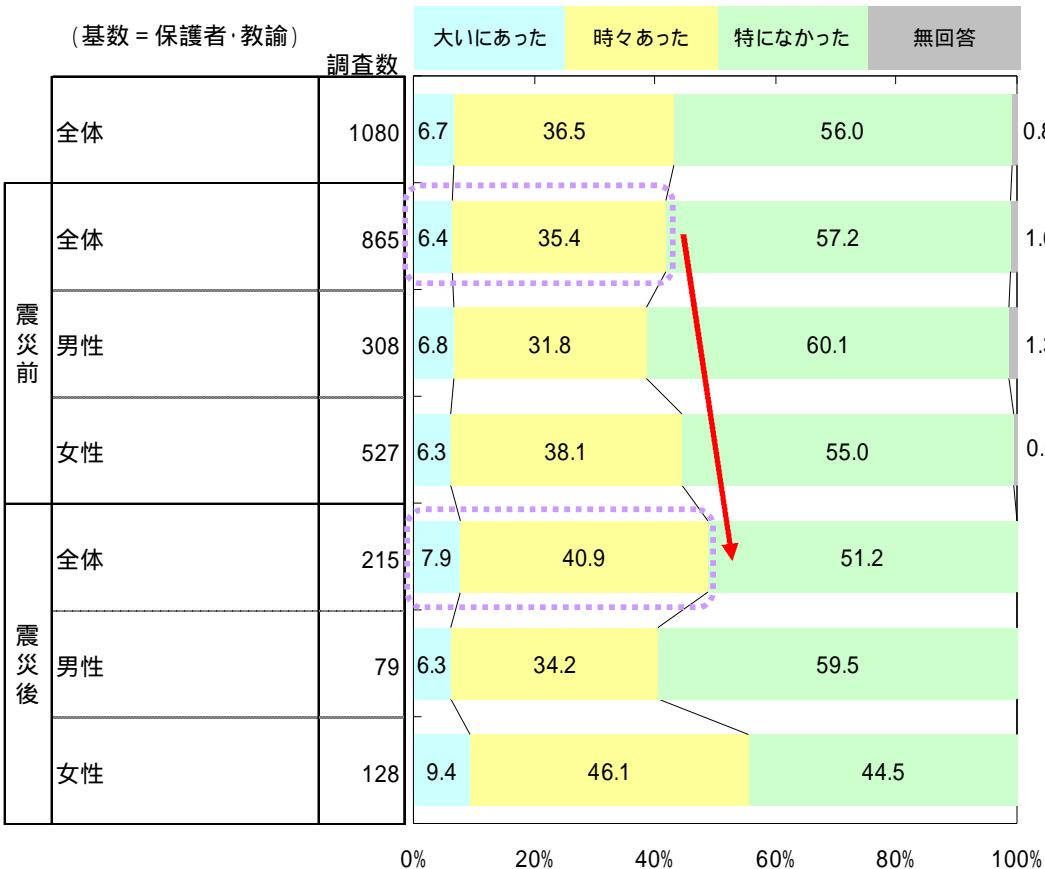
携帯/固定電話が震災時につながりにくかった為に、公衆電話を利用する人が多かったと思われる。

東日本大震災における公衆電話の利用実態～利用時に困った理由～

利用時に困った理由では、**大いにあった～時々あったと回答した人は**、震災前は41.8%に対し、震災後では48.8%となった。性別で見ると、震災後では男性が40.5%で女性は55.5%となり、女性の方が困った経験が多かったことがわかる。

利用時に困った理由では、全体で見ると、震災前と震災後で大きな変化はみられない。性別で見ると、震災後で「**郊外の公衆電話が少なく利用できなかった:25%**」と男性が全体に比べ多く、女性は、「**公衆電話の場所が分りづらかった:36.6%**」が全体と比べ高くなっている。

公衆電話利用時のトラブル経験



公衆電話利用時のトラブル内容

